

会議報告

提出日 平成 26 年 4 月 15 日

会議／委員会名	平成 26 年度第 1 回 倫理委員会
日時・場所	平成 26 年 4 月 14 日（月）、講義棟会議室
委員長氏名	澤洋文
出席者（敬称略）	石塚真由美、荻和宏明、今内覚、澤洋文、鈴木定彦、東秀明、児矢野マリ（人文・社会科学の有識者（法律））、塩野谷治久（一般の立場を代表する外部委員） （陪席）木村庶務係長
欠席者（敬称略）	有川二郎（自然科学の有識者）
報告者氏名	澤洋文委員長
議題および議事内容	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 委員長の選出について <ul style="list-style-type: none"> ✓ 委員からの推薦の後、澤教授が委員長に選出された。 2) 平成 26 年度予算案について <ul style="list-style-type: none"> ✓ 年 4 回実施のために、外部委員の謝金として経費 6 万円/年を計上することになった。 3) 診断依頼を目的とした人由来検体の取扱いに関する取り決めについて <ul style="list-style-type: none"> ✓ 診断のための専門的知見の提供依頼に対する回答を目的とした人由来検体の取扱いは、原則として倫理委員会の審議の対象となる研究には該当せず同委員会の審査は及ばないことが確認された。しかし、同委員会の審議対象となるか否か微妙なケースもあり得ることを考慮し、その場合には、診断のための専門的知見の提供依頼の受付にかかる報告を受けた機関の長からの諮問を受けて、倫理委員会が、同委員会の審議対象となるか否かの検討も含め適宜対応する、という方式が望ましいということになった。なお、診断のための専門的知見の提供依頼の受付にかかる機関の長に対する報告等の詳細については、受付フォームの作成等も含め、各機関で検討することになった。 ✓ 実習については当該倫理委員会の審議の対象外であることを確認した。 4) 今後の開催予定について <ul style="list-style-type: none"> ✓ 通常は年 4 回程度の開催とすることとした。ただし、今回は 5 月末までに倫理委員会の申請書様式を修正し、持ち回り委員会に諮ることとした。その後、審議のために再度委員会を開催することとした。 5) 倫理審査について（5 件の申請あり） <ul style="list-style-type: none"> ✓ 提出された 5 件の申請書について、今後の取扱いが審議され、修正などの後、次回の審査で再審議を行うこととした。 ✓ 申請書の様式に、実験終了後の試料の処理方法について記載すべきとの意見が出され、了承された。それに伴い、細則 12 条にその旨を追記することとした。 ✓ また、研究分担者と協力者の項目について誤解を生むことから表記方法を変更することとした。 ✓ 様式について改変をして委員会内持ち回りで精査することとした。
報告事項	なし

会議報告

提出日 平成26年10月20日

会議／委員会名	平成26年度第2回 倫理委員会
日時	平成26年10月14日（火）14：30～16：10
場所	第1大学院演習室（本館2階212）
委員長氏名	澤洋文
出席者（敬称略）	石塚真由美、荻和宏明、今内覚、澤洋文、鈴木定彦、塩野谷治久（一般の立場を代表する外部委員）、有川二郎（自然科学の有識者） （陪席）木村庶務係長
欠席者（敬称略）	東秀明、児矢野マリ（人文・社会科学の有識者（法律））
報告者氏名	澤洋文委員長
議題および議事内容	議題 1) 倫理審査について 提出された4つの申請に対して審査を行った。いずれも差し戻しとなった。主な差し戻し理由は下記の通り。 調査対象者が不明瞭 同意書の取得や保管が不十分 サンプル採取の方法が不明瞭 被験者に生じうる危険と不快に対する配慮の記載が不十分 個人識別情報管理者の定義の間違い その他 修正点を申請者に報告し、申請者からの再提出を待って再審査することです承された。
報告事項	なし

会議報告

提出日 平成 26 年 12 月 24 日

会議／委員会名	平成 26 年度第 3 回 倫理委員会
日時	平成 26 年 12 月 8 日 (月) 13:30～15:30
場所	会議室 (東側)
委員長氏名	澤洋文
出席者 (敬称略)	石塚真由美、荻和宏明、今内覚、澤洋文、鈴木定彦 (途中退席)、東秀明、塩野谷治久 (一般の立場を代表する外部委員)、有川二郎 (自然科学の有識者)、児矢野マリ (人文・社会科学の有識者 (法律)) (陪席) 木村庶務係長
欠席者 (敬称略)	
報告者氏名	澤洋文委員長
議題および 議事内容	議題 1) 倫理審査について 提出された 4 つの申請に対して審査を行った。いずれも差し戻しとなったが、うち 3 件は、軽微な修正のため、委員長の確認をもって承認することとした。1 件は再提出後、再審査することとなった。 3 件についてメールにて意見を求め、後日、審査を行うこととなった。 2 件について差し替えの希望があり、次回提出後に審議することとなった。
報告事項	なし

会議報告

提出日 平成27年2月18日

会議／委員会名	平成26年度 第4回 倫理委員会
日時	平成27年2月18日(水) 10:00～11:00
場所	会議室(西側)
委員長氏名	澤洋文
出席者(敬称略)	石塚真由美、荻和宏明、今内覚、澤洋文、東秀明、鈴木定彦、塩野谷治久(一般の立場を代表する外部委員)、有川二郎(自然科学の有識者) (陪席) 木村庶務係長
欠席者(敬称略)	児矢野マリ(人文・社会科学の有識者(法律))
報告者氏名	澤洋文委員長
議題および議事内容	<p>議題</p> <p>1) 倫理審査について 提出のあった申請書について、以下の通り審査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">修正後に再提出された3件の申請に対して審査を行った。1件は承認され、2件は差し戻しとなった。修正が指摘された2件の申請については、軽微な修正のため、委員長の確認をもって承認することとした。新規に提出された2件の申請に対して審査を行い、修正が指摘された。ただし、軽微な修正のため、委員長の確認をもって承認することとした。新規に提出された1件の申請については、実習にかかる申請のため、審査の必要性について議論され、研究成果を実習以外にも活用するか否かについての確認をとり、その上で必要に応じて審査を行うこととなった。 <p>2) 「人を対象とする医学系研究に関する倫理方針」にかかる対応について 文部科学省および厚生労働省が平成26年12月22日に告示した上記倫理方針について、委員会として以下の確認を行った。今後、情報の収集を行い、委員会として対処することとした。</p> <ul style="list-style-type: none">全学又は病院、医学部の対応を確認後、検討すること。委員会構成員について、将来的には「人文社会科学の有識者」及び「一般の立場」の委員を複数名にすること。
報告事項	なし